

# CAMPUS 八戸学院

vol.39

八戸学院 NEWS <CLOSE UP!>

**八戸学院大学 看護学科スタート**

特集

八戸学院大学・八戸学院短期大学キャリア支援課

**就職サポートプログラム**

八戸学院 NEWS <CLOSE UP!>

**全国大会出場！**

八戸学院大学ラグビー部・八戸学院大学女子サッカー部

光星高校陸上競技部（駅伝）

学びの時間

光星高等学校

**調査研究「八戸の誇り 安藤昌益」**





## 2016 年 4 月より 八戸学院大学 看護学科がスタート！

八戸学院大学 看護学科は、青森県南初となる 4 年制大学の看護学科で、看護師と保健師を目指すことができます。

3つの教育目標を定め、高度な地域医療を支える人材育成を目指します。



8号館（総合実習館）

### 看護学科の3つの教育目標

- ①豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力と行動力を有して、科学的な根拠に基づく看護ケアが実践できる看護師を育成する。
- ②他の医療機関系職種と連携・協同し、地域医療従事者の中で看護の役割を主体的に判断し行動することができる看護師を養成する。
- ③へき地や医療過疎地など地域特性の理解のもと、地域の看護活動に関する研究に積極的に取り組むことができる看護師を養成する。

※詳細は下記にお問い合わせください。

八戸学院大学・八戸学院短期大学 キャリア支援課

TEL：0178-30-1700 E-mail：career@hachinohe-u.ac.jp

## CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 八戸学院 NEWS<CLOSE UP!>
- 4 特集  
キャリア支援課 就職サポートプログラム
- 6 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 2>
- 8 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 3>
- 10 八戸学院 NEWS／イベント情報
- 16 学びの時間  
調査研究「八戸の誇り 安藤昌益」
- 17 職員ファイル
- 18 理事長散策
- 20 HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT  
美保野キャンパス Bus Stop



### そっと耳を澄ませば

著 者：三宮 麻由子  
販売元：集英社文庫

紅葉の季節になると、5年ほど前に八戸での著者の講演会を思い出し、“そっと耳を澄ませば”を読み返したくなる。『紅葉の季節の小雨は格別である。ハラハラと音にならない音をたてながら落ちてくる木の葉の音と、小雨の細かな雨滴が敷き落ち、葉をぬらす音と、どちらか迷ってしまう。繊細な雨粒たちは命をまっとうして、カラリカラリと最後の音楽を奏でている落ち葉のように、空での命を輝かせ終え、神秘の竖琴を奏でながら、地上に舞い降りてくるようだった。』光りを失った著者が、落ち葉や雨音を耳や肌で感じた不思議な世界を、晴眼者には感じることでない“音の目線”で伝えてくれた一文である。

ピアノを弾きながら人生を語り『いつもいつも見えるようになりたいと思っていないかならない人生より……これで十分幸せだって思える人生のほうが、本当の意味で幸せではないかと思うんです。いかがですか。』の問いかけに満場の拍手が起こった。

明るく、ポジティブな著者の生き方に人生を考えさせられる一冊である。



壬生 寿子

八戸学院光星高等学校専攻科  
教諭（介護福祉科長）

## CAMPUS 八戸学院

vol.39



表紙

東北地区大学リーグ1部優勝の八戸学院大学ラグビー部は、北海道代表を破り全国大学ラグビー選手権出場が決定しました。

### 建学の精神

#### 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道德教育を施し、高尚な人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄付行為 第3条）



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学  
地域連携研究センター TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学  
図書館 TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校 TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科 TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校 TEL 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園 TEL 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園  
聖アンナ TEL 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園  
第二しのめ TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

置いてるよ！



## 就職合宿

就職活動を本格的にスタートさせる大学3年生が「一歩前に出る」ために行う1泊2日の合宿。企業の人事担当者などの協力もいただき、就職戦線を乗り切る力を確実なものにしていきます。平成6年に第1回が開催され、これまでに20回開催してきました。なんとこの就職合宿は、本学が東北地区の大学で初めて開催した歴史あるイベントでもあるのです。

### 就職合宿スケジュール



#### ⑥模擬面接

前日、必死になって書きあげた履歴書をもとに集団模擬面接を行います。本番さながらの緊張感の中、学生たちの表情は真剣そのもの。面接官役の企業の採用担当者からは、面接試験における具体的なアドバイスをいただきます。



#### ⑦振り返り

2日間の振り返りを行い、これから始まる就職活動のスケジュールを作成していきます。ハードスケジュールの合宿を終えた学生たちは、合宿前とは違う引き締まった表情をしており、頼もしさが感じられます。

### 就職活動スタート!!



#### ④グループ別講義

一般企業、公務員、教員のそれぞれ希望するグループに分かれます。本学の教員や内定を得た4年生との座談会では、先生や先輩のリアルな体験談に後輩たちからは質問が飛び交います。



#### ⑤面接マナー

翌日の模擬面接に備えて、お辞儀、入退室の仕方などを学びます。ロールプレイング方式で行い、実践的な練習ができます。

一日目は22時までの  
ハードスケジュール！  
慣れないスーツと緊張で  
学生たちはクタクタ…



#### ①内定者報告会

これから始まる合宿に臨む学生へ大谷学長よりエール。講話終了後は、夢や目標を共有するため大谷学長とツーショット写真撮影。実は入学後にも撮影しており、夢や目標の再確認！



#### ②応募書類の作成

講師からのアドバイスを受け、事前に記入してきた履歴書に磨きをかけます。多くの学生が合宿中に頭を悩ませるところですが、合宿を経て格段にレベルアップする学生もいます。



#### ③グループディスカッション

与えられたテーマについてグループごとに議論、発表します。意見がまとまらず苦悩するグループも出ます。近年、グループディスカッションを選考に取り入れる企業も多く、貴重な練習の機会です。

### ハ戸学院大学 ハ戸学院短期大学 キャリア 支援課

キャリア支援課は入試・広報・就職の業務を通して大学生・短大生の入学から卒業までをサポートする部署です。今回は主な就職サポートプログラムと、1泊2日で行われる就職合宿を紹介します。

### 特集



石橋 修  
ハ戸学院大学学長補佐  
就職支援委員会委員長

本学では、授業のカリキュラムに位置づけているキャリア教育の授業をベースに、キャリア支援課を中心とした講座やセミナー等を実施しています。これらは、ゼミ担当者とも連動した学生一人ひとりに合わせたキャリアデザインの徹底サポート体制となっています。ガイダンスから始まり、学生からの個別相談はもとより、就職合宿や就職説明会、内定者報告会など多岐にわたるプログラムとなっており、生涯を通じた未来を開拓する力の基盤づくりを目指します。

## 本学の長所は「支える就職指導」



#### 面談

就職活動を始める前に、まず就職登録カードを書いてもらい、長所や短所、そして希望する職種や業種などをもとに、キャリア支援課スタッフと面談します。学生一人ひとりとじっくりコミュニケーションをとり、将来の道の探し方や決め方、夢を叶えるために何をしたらいいかを、それぞれの適性を見極めながらアドバイスしていきます。



#### キャリアプランニング

本学では1年次から学生をサポートする各種講座を、本学の教員や外部講師を招いて実施しています。就職活動が始まる前の段階から、卒業後の進路を考える機会を設け、学生生活の目標を見つけ出し、学生自身が目標に向けたキャリアプランの構築を行います。



#### ハローワーク

毎週木曜日の10:00~15:00までの間、ハ戸公共職業安定所の学卒担当者の方が来学し、就職相談、履歴書の添削、模擬面接などを行っています。就活生の強い味方です。





## 光星高等学校 陸上競技部 京都都大路を走る 12/20 全国高校駅伝 初出場



赤間 俊勝  
光星高校陸上競技部 監督

レースに向けて、走者には入りの1km勇気を持って抑えることと中間点にいる仲間にはガッツポーズをして後半まだ自力があることを自己確認すること。また、キャプテンからは笑顔で襷を渡し次走者をリラックスさせ勇気を渡すことの決め事をしました。13年連続の準優勝の果てにつかんだ優勝、そして全国大会。改めて諦めないこととそこまでの過程の大切さを学びました。12月20日の京都都大路でも初出場らしく駆け抜けて来たいと思います。



吉崎 正昭  
光星高校陸上競技部 外部支援コーチ

とにかく全国高校駅伝に初出場が嬉しい。赤間先生とは、彼が高校時代からの付き合いでこのチームに携わって約20年になり13年間でずっと2位を見てきた。赤間先生からは、何年かかっても必ず京都都大路に連れて行くと常々言われていたのでここまで頑張ってきた。ケニア人留学生のいる学校に勝てた全国でも数少ないチーム。生徒たちがかわいい。卒業生達も大学や実業団で活躍しているのも自慢だ。全国でも持てる力を発揮して頑張りたい。



### 《陸上競技部 平成27年活動紹介》

- ・県高校総体 男子総合2位 男子トラック総合優勝
- ・東北高校総体 出場
- ・和歌山インターハイ 出場
- ・県高校駅伝競走大会 女子 準優勝(10回目)
- ・東北高校駅伝競走大会 男女 出場
- ・和歌山国体 出場



長根 浩太  
光星高校陸上競技部 部長

自分たちの代で新たな歴史をつくろうと心に決め日々の練習に取り組んできました。全国大会では、自分たちの持っているものを出し切りたいです。

### 光星高校 陸上競技部出身 箱根駅伝出場者

- 舘石 盛行 (拓殖大学)
- 蛭名 聡勝 (帝京大学)
- 木村 翔太 (東京農業大学)
- 堅谷 真 (拓殖大学)
- 大下 稔樹 (國學院大学)
- 石橋 健 (神奈川大学)

## 八戸学院大学ラグビー部

### 第52回全国大学ラグビーフットボール選手権 出場【11/22】



工藤 祐太郎  
八戸学院大学ラグビー部 監督

ラグビー部は平成23年度に愛好会として発足し、24年度に東北地区大学リーグ3部優勝・2部リーグ昇格、26年度に1部リーグに昇格し、今年度1部リーグ昇格初年度にして全勝優勝を果たしました。創部4年と日が浅いですが、このような結果を残すことが出来たのも多くの方の応援とご支援のおかげであると改めて感じております。先日、北海道代表との試合に勝利し、11月22日には、東北・北海道代表として全国大学選手権1stステージに出場します。部で掲げた『報恩謝徳』のスローガンの下、感謝の気持ちを常に持ち、初出場ではありますが東北・北海道代表悲願の初勝利を目指したいと思います。応援のほどよろしくお願い致します。



太田 祐次郎  
八戸学院大学ラグビー部 主将

接戦を制し、北海道・東北地区代表の座を勝ち取ることができました。全国大会は、経験したことのない未知の領域となります。全国相手に八戸学院大学のラグビーがどれだけ通用するのか、チャレンジャーとして全力で挑みたいと思います。



山下 祐史  
八戸学院大学ラグビー部 コーチ

4月にコーチとして就任してから、チームプレイを重点的に指導してきました。全国大学選手権は、全国トップクラスのチームと対戦できる貴重な機会なので、自分たちの力がどこまで通用するかを肌で感じてほしいと思います。

## 八戸学院大学女子サッカー部

### 第24回全日本大学女子サッカー選手権大会 出場【12/26】



9月から始まったリーグ戦において第2位(3勝1敗)となり、創部2年目で初の大学選手権(インカレ)出場権を獲得いたしました。大学選手権は12月26日から兵庫県で開催されます。本番までに選手一人ひとりが「心・技・体」をもう一度見つめなおし、目標である「全国で1勝」に向けて、より厳しいトレーニングを積んでいこうと思います。応援してくださった皆様、ありがとうございました。大学選手権では部員14名が一丸となって戦い、全国の舞台でも思いっきりサッカーを楽しめます。

畑中 孝太 八戸学院大学 女子サッカー部監督





ステージ発表

八戸学院短期大学附属3幼稚園園児による挨拶で始まったステージでは、生徒・教員の発表や「地域の発展の基礎は教育にある」と題したパネルディスカッションなどが行われました。



オープニング (附属3幼稚園)



チアリーディング (光星高校)



手話コーラス (光星高校専攻科)



研究発表 (八戸学院短大)



パネルディスカッション



吹奏楽部 (光星高校)



クイズ八戸検定 (地連研)



野辺地祇園囃子 (野辺地西高校)



Be-labo 公開録音 (八戸学院大)



合唱 (八戸学院短大)



軽音楽部 (八戸学院大)



ダンスサークル (八戸学院短大)



バトン (八戸学院短大・光星高校)

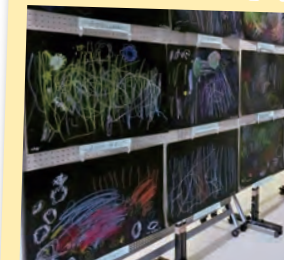


フィナーレ

君とずーっと仲間で〜開催

第3回 八戸学院フェスタ「絆」

八戸ポータルミュージアムはっちで開催された  
第3回八戸学院フェスタ「絆」の様子をレポート！



幼稚園作品展  
(附属幼稚園  
聖アンナ  
第二しのみ)

各幼稚園の園児が製作した作品を展示。楽しかった遠足や運動会などを絵の具やクレヨン、ねんどを使い表現しました。



手洗いコーナー  
(短大看護学科)

手洗い後、機械に手をかざすと洗い残しが一目瞭然！あなたはちゃんと手を洗えていますか？



展示コーナー

「教育全般・国際交流」「健康・福祉」「スポーツ」「地域連携」の4つのテーマに分けて各校の取り組みを紹介しました。



教育全般・国際交流



地域連携



スポーツ



健康・福祉



八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センターは、株式会社デーリー東北新聞社と連携協力協定を締結しました。調印式には、株式会社デーリー東北新聞社の荒瀬 潔 代表取締役社長、地域連携研究センターの大谷 真樹センター長（八戸学院大学 学長）が出席。今後、①新聞を活用した教育手法（NIE）の研究と実施②地域スポーツ振興の共同調査・研究や企画運営③地域文化研究に関する情報交換および支援④地域課題解決に向けた産官学連携の企画および支援などを通じて、地域活性化を目指していくことを確認しました。



## 大・短 入試直前！入学の意識を高めたオープンキャンパス [9/26]

**八戸学院大学・八戸学院短期大学**  
**9/26(STA) OPEN CAMPUS 体験授業プログラム**

|                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ビジネス学部</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>起業家・ビジネスプログラム</li> <li>農業経営プログラム</li> </ul>        | <b>人間健康学部</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>教育職プログラム(保健体育)で学べること</li> <li>教育職プログラム(養護・保健・看護)で学べること</li> <li>社会福祉士プログラムで学べること</li> <li>トレーニング指導者プログラムで学べること</li> <li>認定心理士プログラムで学べること</li> </ul> |
| <b>幼児保育学科</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>作って・遊んでみよう</li> </ul>                              |                                                                                                                                                                                                             |
| <b>ライフデザイン学科</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいお金の話</li> </ul>                              |                                                                                                                                                                                                             |
| <b>看護学科</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>在宅看護学:「～見て&amp;聴いて&amp;触って！在宅看護を体験してみよう～」</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                             |



今年度2回目のオープンキャンパスが開催され、県内外より高校生と父母合わせて267名の参加があった。中には、2度目、3度目となるリピーターの姿も見受けられた。入試直前となった今回は体験授業を充実させたほか、入試対策講座が実施され、小論文の書き方、注意点、留意点、採点方法など、多角的に分析された情報が説明された。参加者からは、「自分の視野が広がった」「楽しかったし、勉強になった」「具体的な入試対策が聞けてよかった」などの感想が寄せられ、参加した高校生や父母の入学への意識を高められた。

## 短 大 避難訓練・消火訓練実施 [9/30]

短期大学講義棟において、幼児保育学科1年生と教職員約100名を対象に、平成27年度避難訓練および消火訓練が実施されました。

避難訓練では、学内すべての建物から残留者がいないことを確認するまで、迅速な対応で避難場所まで移動することができました。

また、消火訓練では、消火器の取り扱い方法や初期消火での注意事項など説明を受けた後、教員4名と学生4名が模擬消火器を用いて訓練を実施しました。



## 大・短 新しいキャリア教育と図書館の可能性 ～アクティブ・ラーニングの拠点となる図書館へ [10/9]



公立大学法人北九州市立大学  
キャリアセンター准教授(地域創生学群専任)  
見館好隆氏

青森県高等教育機関図書館協議会が主催する研修会が八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館1F特設会場にて行われ各大学の図書館スタッフや一般、他大学生が参加した。

研修会では、講演テーマ「新しいキャリア教育と図書館の可能性」をテーマとした講演とアクティブ・ラーニング「ワールド・カフェ」を実践。講演の中で講師の見館好隆氏より、学生の「就職活動」が自由化ヘシフトされることが想定されることから、「主体的に学ぶ力」「豊かな対人関係」「将来の意識」この3つの力を獲得するキャリア教育を構築する必要がある、図書館を起点にアクティブ・ラーニングを学内へ普及していったらどうか。と提言がされた。



# 笑顔あふれる 学園祭・文化祭

八戸学院の学園祭・文化祭は、各学校ならではのイベントがたくさん！  
大人から子どもまで楽しめる学園祭・文化祭をまとめてご紹介します。

### 八戸学院短期大学 [10/24・25] 光華祭 Smile ～笑顔あふれる光華祭～



キャンパスをジャック！  
HACHITANCAMPUSRADIO



癒しの空間 アロマ手浴コーナー



作ったおもちゃで遊べる  
てづくり！こどものへや



様々な模擬店が Outcome

### 八戸学院野辺地西高等学校 [10/17・18] 野西高祭 燃やせ青春の炎 ～駆けめぐる野西魂～



カラオケ大会 はたして得点は？



人間福祉系列展示



上手にかけたかな？ 缶詰作りコーナー



天気に恵まれました

### 八戸学院光星高等学校 [10/17・18] 光星祭 UP ～伝統が常に進化する～



エドブレン高校  
ジョセフ・マイルズ副校長先生のご挨拶



生徒の創作ダンス発表



介護ベッドが海に变身



中島美華さんスペシャルライブ



## イベント情報

平成27年11月～平成28年2月

### 八戸学院大学

- ▼30周年記念同窓会大会 11/21(土)
- ▼イルミネーション点灯 12/4(金)
- ▼校友会活動報告会 12/18(金)

### 八戸学院光星高等学校

- ▼クリスマス会 12/1(火)
- ▼イルミネーション点灯 12/1(火)

## 入学願書受付情報

平成27年11月～平成28年2月

### 八戸学院大学

- ◆ビジネス学科 / 人間健康学科
  - ▼推薦Ⅱ期 11/24(火)～12/4(金)
  - ▼AO入試 12/1(火)～3/1(火)
  - ▼一般入試(前期) 1/12(火)～27(水)
  - ▼センター利用(A日程) 1/18(月)～29(金)
- ◆看護学科
  - ▼推薦入試(公募) 11/24(火)～12/4(金)
  - ▼一般入試(前期) 1/12(火)～27(水)

### 八戸学院短期大学

- ◆幼児保育学科
  - ▼専門課程/社会人入試 11/24(火)～12/4(金)
  - ▼一般入試(第Ⅰ期) 1/12(火)～27(水)
- ◆ライフデザイン学科
  - ▼推薦Ⅱ期/社会人入試 11/24(火)～12/4(金)
  - ▼AO入試(C日程) 12/1(火)～3/1(火)
  - ▼一般入試(第Ⅰ期) 1/12(火)～27(水)

### 八戸学院光星高等学校

- ▼推薦入試 1/6(水)～13(水)
- ▼一次入試 1/25(月)～29(金)

### 八戸学院光星高等学校専攻科

- ▼Ⅱ期：推薦入試 / Ⅱ期：一般入試 9/25(金)～11/30(月)
- ▼Ⅲ期：推薦入試 / Ⅲ期：一般入試 12/1(火)～3/4(金)

### 八戸学院野辺地西高等学校

- ▼一般入試 1/25(月)～29(金)

## 光星高 スポーツフェスティバル [8/27～8/28]



夏休み明け直後の8月27日～28日に行われたスポーツの祭典「スポーツフェスティバル」が美保野キャンパスの大学・短大施設を利用し開催された。男女それぞれバレーボールなどの定番球技種目から綱引き、長縄跳びなどの異色な種目まで各5種目で競い、総合優勝の証である「伝統の巨大トロフィー」をかけた熱き2日間となった。初日に雨の影響で屋外競技が心配されたが、リーグ表を書き換え前日の予定の種目も2日目に入れ込み全ての競技がなんとか無事終了した。特に急遽屋外から体育館で行われた長縄跳びと綱引きは大いに盛り上がり総合スポーツの祭典であることを印象付けた。



## 専攻科 研修旅行を終えて [10/7～10/9]

介護福祉科2年生が関東方面へ、介護福祉士としての知識を深めることを目的に研修旅行を実施しました。一日目は国際福祉機器展を見学し、最新の福祉機器を見ることができました。二日目は終日自由研修でディズニーシー、東京都内散策など充実した時間を過ごすことができました。三日目は特別養護老人ホームと障がい者支援施設の複合福祉施設を見学し、自立支援の方法や地域連携についての理解を深めることができました。今回の学びを今後に活かしていける研修旅行になりました。

## 専攻科 平成27年度クリーンパートナーが終了 [10/16]

この活動は毎年、自動車科の学生と教員が日頃通学に利用している通学路等の清掃奉仕活動を行うものです。毎回収集するゴミの量が多いため、3つのルートに分けて実施しました。第1ルートは国道45号線の町畑付近から出発、第2ルートは第一養護学校付近から出発、更に第3ルートは特別老人ホーム光葉園付近から出発し、それぞれ本校までの通学路の清掃活動を行いました。

その結果、空き缶やペットボトルのポイ捨てが数多く目立ち、まだまだモラルの欠如している人が意外に多く、学生・職員共に驚かされました。



## 野西高 1日体験入学 [7/31, 8/7]

中学生を迎え、一日体験入学を行いました。

1回目の体験では、【学習編】として10のテーマで開講、各系列の特色を活かした体験授業が行われ、短い時間ながら高校授業の一端を紹介することができました。2回目の体験では、【部活動編】として運動部と熱気球クラブが登場しました。真剣な表情で練習に取り組む参加者を前に、指導にも熱が入りました。

両体験入学後に行ったアンケートでは、「在校生が優しく丁寧に指導してくれた」と感謝の言葉や「楽しい時間が過ぎた」、また部活動編参加の生徒では、「ぜひ入部して、県優勝したい」との感想が寄せられました。様々な思い、希望、志を持って体験入学に来てくれた生徒たちが、本校に入学してくれることに期待しています。



## 光星高 カンボジアからの留学生 ニエン・ソピアップさん



本校は、カンボジアとの国際交流事業を行っています。その継続事業として今年も3人目の短期留学生の受け入れをしました。ニエン・ソピアップさん(16歳)はベッチェンダー高校の1年生です。お父さんは医者をしており、将来はお父さんと同じ仕事に就きたいそうです。8週間の滞在中、ホームステイをしながら積極的に様々なことを体験し、学びました。八戸の海が大好きで、海の青さと美しさにとても感動していました。たくさんの思い出と共に帰国しました。カンボジアでも学びを継続し、ぜひ夢を叶えて欲しいと思います。



## 光星高 ～勝負をかけた一瞬～ 全国高等学校総合体育大会レスリング競技

66 kg級 第3位 3年 <sup>うえの</sup>上野 <sup>ちひろ</sup>千紘

「優勝」の2文字をただ直向きに追いかけてきました。自分の弱点を克服するため、もう一回、あと一回…。繰り返した日々を自信に替え、挑んだ全国高校総体でした。

準々決勝では、3月の全国選抜大会優勝者との対戦となりましたが、接戦の試合内容のなかで、前半の強気の攻めが功を奏し1点差で勝利を収めることができました。良い流れで臨んだ準決勝、1点を争う激しい展開で相手の攻めに対し受け身になった瞬間に痛恨の失点。後半に1点差まで追いつきましたが、試合終了のブザーが鳴りました。「攻めは最大の防御」であるということを改めて痛感しました。

3年間で多くのことを学ぶことができました。これまで支えてくださった全ての方々へ感謝し、これからも自分自身が成長できるように頑張ります。



## 専攻科 平成27年度オープンキャンパスが終了 [8/29]

平成27年度のオープンキャンパスが開催されました。

各科の実習体験として自動車科は「楽しい自動車整備」、介護福祉科は「高齢者の思いを体験してみませんか？」をテーマに実施しました。参加していただいた皆様からは、大変満足した、是非入学したい、という声が多数ありました。ご参加していただいた皆様お疲れ様でした。



## 野西高 「よいやさ、よいやさ」の掛け声、街に響き渡る～「のへじ祇園まつり」出陣～ [8/23]



野辺地町の伝統の祭り「のへじ祇園まつり」が催され、最終日の8月23日に参加しました。煌びやかな山車と優雅な祇園囃子とともに街中心部を練り歩き、沿道の観客から数多くの声援や拍手をいただきました。

16回目の参加となる今年の題材は、「風流 義経八艘飛び」、山車には10人の祇園囃子保存部生徒が乗り、神楽太鼓・曳き子総勢約100名が、「よいやさ、よいやさ」の掛け声を町に響き渡らせ、祭りのムードを盛り上げました。

## 27年度 高校生による震災復興支援事業 [9/20]

3年目となる復興支援活動を岩手県山田町で行いました。20日朝、未明から熱気球の準備を開始、6時頃から2時間程約80名の方々に空の旅を楽しんでもらい、出前ゲームセンターでは多くの子供達と交流を深めました。

参加した生徒は、「人のために何か役に立っている、喜ぶ姿で良い気持ちになった。参加して良かった。」と話していました。



## 八戸学院 NEWS

平成27年  
8月～10月



## 聖アンナ レスキュー車がきたよ [10/9]

今日は避難訓練。火災を想定した避難の練習や先生方の消火訓練を見学しました。訓練の後、クラスごとにレスキュー車を見学しました。幼稚園にきたレスキュー車は大型のもので、園庭の芝生が沈むほどの重さ、門を通らないほどの大きさでした。



子どもたちは「すごく大きいね」「あの車見たことあるよ、カッコいいな」と大はしゃぎでした。消防署の方がレスキュー車の扉を開け、積んである荷物や道具について説明をしてくださいました。レスキュー車には救助ボートやクレーン、牽引用フック等様々な装備がありました。子どもたちは、「これは何に使うの」と質問をしたり、伸び上がってレスキュー車を観察したりと興味津々な様子でした。



## 附属 星の子祭&夕涼み会 [7/26]

星の子祭は、入園、進級後の様々な活動体験を通して表現することを楽しんだ子どもたちの作品を展示紹介したり、親子で制作したり、PTAひかりの会の方々によるお楽しみコーナーや盆踊り、和太鼓体験など、ご家族皆さまで楽しんでいただいた一日となりました。恒例となっている園庭に面したガラス戸へのお絵描きは、「○(丸)で遊ぼう」を今年度のテーマとし、雪だるまや泡、マスカットなど、各クラスで題材を決めて行いました。見ていた方から「わぁ！ガラスに描くのは楽しいでしょうね…」と、声が聞かれたように、制作時の子どもたちは、真剣に筆を動かし、出来上がると満面の笑みを浮かべ、「もっと描きたい」と意欲的でした。



見ていた方から「わぁ！ガラスに描くのは楽しいでしょうね…」と、声が聞かれたように、制作時の子どもたちは、真剣に筆を動かし、出来上がると満面の笑みを浮かべ、「もっと描きたい」と意欲的でした。



## 附属 体験学習「さつまいも掘り」[10/27]

秋晴れの暖かい日に、年長組と年中組は、農業経営振興センターへさつまいもの収穫体験に出掛けました。春に苗植えをしたさつまいもが大きく育ち、収穫を楽しみにしていた子どもたちは、勢いよく土をかき分けてさつまいもを掘り出していました。「ずっと蔓がつながってるよ」と、どこまでも掘り進んだり、折らないように「ちょっと動かしてから、くるくるするの」と回しながら抜いたり、実際に体験したことで得た発見や工夫に目を輝かせていました。



## 第二しののめ にんじん収穫、サラブレッド見学 [9/29]

さわやかな秋晴れの日、南風農園（南郷）へ出掛けてきました。今話題の無農薬人参ジュースを手がけている水野浩司氏の説明を受けた後、人参の収穫体験を楽しみました。どんな形の人参が見つかるかな？力をいっぱい入れて土の中からオレンジ色の人参が出てきた時は、みんな大喜びでした。収穫した人参をおみやげに、お家でどんなお料理にしようかなとワクワクしながら農園をあとにしました。次に、近くの牧



場へ移動し、サラブレッドを見学。真近で見る馬の迫力にドキドキしながらも、人参の葉をえさにあげ、おいしそうに食べる姿を見て、にこにこ顔の子どもたちでした。共に感動する心を大切に実りある秋を満喫しました。

## 聖アンナ 秋の季節祭 [10/5]

今年の秋の季節祭は、種差少年自然の家へ出掛けました。まず、年齢別にわかれ、施設の周りを散策しました。見た事のない葉っぱや木の実、松ぼっくりやいがぐりを拾い、たくさんの秋を感じながら楽しみました。



また、自然物の中に偽物を隠し、それを探す「カモフラージュ」というゲームもしました。にんじんのおもちゃなどわかりやすい物から、本物そっくりの栗など難しい物まであり、じっと見て探していました。昼食は施設の食事を頂きました。ラーメン、炊き込みご飯、唐揚げなど子ども達が大好きなメニューが並び、とても嬉しそうでした。散策で拾った栗、どんぐり、松ぼっくり、くるみは翌日お部屋に飾り、改めてじっくり観察しました。



## 附属 未就園児教室「星の子キッズクラブ」[10/7,8]



様々な内容で行っている未就園児教室。「幼稚園のお友だちと触れ合おう」では、在園児の歌や演奏を聞いたり、一緒にダンスを踊ったり、最後はハイタッチで「また遊ぼうね！」と触れ合いを楽しみました。また、「美保野キャンパス散策」



では、あいにくの強風でしたが、スクールバスで美保野キャンパス内を移動し、最後は八戸学院短期大学のグラウンドで、「ここで運動会するの楽しみだね」と一走りしてきました。



## 第二しののめ 総合避難訓練 [10/8]



火災を想定した総合避難訓練を実施しました。日頃行っている訓練や約束事を守りながら取り組み、無事避難することができました。最後には、東消防署の方々から講評をいただきました。

また、八戸消防署のダッシュ119の方々に火災のときの対応をクイズ形式で教えていただくなど楽しく学ぶことができました。



## 第二しののめ 祖父母給食試食会 [9/17]

祖父母の方を招待しての給食試食会がありました。祖父母の皆様の自己紹介や、子ども達の手遊びや歌、ペープサートなど幼稚園での活動を発表して交流を深めました。給食の時間は明るい雰囲気の中、食事をいただき、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



## イベント情報 平成27年11月～平成28年2月

### 八戸学院短期大学附属幼稚園

▼イルミネーション点灯  
11/30(月) 15:40

## 未就学園児教室 開催 平成27年11月～平成28年2月

### 八戸学院短期大学附属幼稚園

【星の子キッズクラブ】10:00～11:30  
11/18(水)・11/19(木)・11/28(土)  
12/16(水)・1/20(水)・1/21(木)  
1/27(水)・1/30(土)

【1日入園】10:00～11:30  
2/20(土)

### 八戸学院短期大学附属幼稚園 聖アンナ

【めだか学級】10:00～11:30  
11/16(月)・11/24(火)・12/15(火)  
1/26(火)・2/9(火)

【オープンスクール】10:00～14:00  
11/18(水)

【1日入園】10:00～11:00  
2/20(土)

### 八戸学院短期大学附属幼稚園 第二しののめ

【ポケット広場】10:00～12:00  
11/18(水)・12/3(木)・1/20(水)  
2/4(木)

平成27年10月現在  
詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。

## 八戸学院 NEWS

平成27年  
8月～10月



③

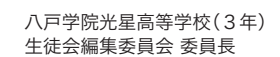


## 研究功勞賞受賞

「メタルバイオサイエンス研究会」は、金属の生理機能や毒性の分子機構に関する研究の発展とそれに関わる研究者の交流・情報交換を目的としている団体で、この度、長年の研究成果が評価され研究功労賞を受賞しました。

## 水銀毒性の発現機構解明と世界に向けて啓発を

水銀蒸気曝露によるヒトへの健康影響に関する研究を40年間行っています。水銀中毒の主な症状は、エリチズム（神経過敏症）、振戦（手指のふるえ）、口内炎・歯肉炎ですが、妊娠中に水銀蒸気に曝露されると胎児にも影響が及ぶことが知られています。現在、日本では水銀中毒を見ることはありませんが、世界では発展途上国を中心に約1千3百万人が金採掘に従事し、その際に使用する水銀により鉱山作業や周辺住民に健康被害が及んでいます。水銀毒性の発現機構は未だ不明ですが、今後は毒性発現機構の解明に関する研究に努め、その成果を世界に向けて発信するとともに、水銀蒸気の危険性の啓発を行ってまいります。



### 3. 調査研究の過程

① (動 機)

独自の思想をもっていて高校の歴史や倫理の教科書に載っている昌益が八戸で活躍していたことを知り興味をもった。

② (方 法)

関係図書数冊を読む。天聖寺での講演会に出席した。安藤昌益資料館を訪れた。資料館の館長に指導をいただいた。

### ③ (プレゼンテーション)

概要をまとめた後、理解できたところをイラストで分かりやすく伝えることにした。また、ナレーションを吟味してDVDを作成することにした。

#### ④ (館長さんのご指導)

資料館ではビデオで学び不明な部分を質問した。三浦館長さんは丁寧の説明して下さいました。

⑤ (発表)

全国の人々に知ってもらおうと「観光甲子園」に出品し、八戸学院フェスタ、光星祭、諸講演会などでも上映しました。現在、DVDを希望する方が少なくなく「分かりやすさ」を評価してくれます。

## 1. 安藤昌益とは

江戸時代の人。一七〇三年現秋田県大館に生まれ、十五歳で京都に上り仏門に入ったが医者になり、四十二才から八戸に十五年間居住し、生家に戻り五十九歳で没。

## 2. 主な思想と行動

- ①米を作る農民が社会の中心であるとし封建社会を批判した
- ②人には上下の区別なしとし、身分制度を否定した

#### 4. 振り返って

飢饉や年貢に苦しんだ江戸時代の農民を知り、私たちは身分制度や男女差別のない平和な社会に住む幸せをかみしめます。昌益の残した思想と行動は、風光明媚な種差海岸、華やかな「八戸三社まつり」、古代に思いをはせる縄文館、そして多彩な食文化の中にあつて八戸の誇る文化遺産と言えるのではないでしようか。

調査研究を通して地域のことを知ること、創意工夫の大切さ、そして机上の学習だけが勉強ではないことを学んだ一年間でした。







法 官 新 一  
Shinichi Hogan

## 高校と大学の

### 新たな歴史を築く快挙

テレビで赤間監督号泣というシーンが放送された。県高校駅伝で光星初優勝のニュースであった。部の指導に携わって20年、そのうち13年間は強豪山田高校の背中を見て走る万年2位のチームが悲願の優勝で京都路を走ることになった。一からコソコツと部を育てての栄冠は喜びも一入であろう。以前、赤間俊勝監督に選手強化の協力を申し出るが、今のままで頑張りますという返事にただ



光星高校陸上競技部 監督・駅伝選手

見守ってきた。それだけにこの初優勝は、過去頂点を目指して頑張った部員達、また支えてくれた保護者や関係者の喜びでもあったと思う。

同時期に、八戸学院大学のラグビー部が創部4年目にして、東北地区大学ラグビーの1部リーグで、強豪大学を倒して全勝優勝した。奇跡的な快挙でした。折しもラグビーのワールドカップが開催され、日本チームの躍進が盛んに報道されている時を同じくし、我が大学も盛り上がった。後日、対北海道大学に勝利し、



八戸学院大学ラグビー部 監督・コーチ・代表者

東北・北海道ブロックの代表として全国を賭けての戦いに挑む。期待も高まる。工藤祐太郎ラグビー部監督は就任5年目ですが、山下コーチも加わりコソコツと努力してきた成果である。両部は学院に新たな希望の花を咲かせた。今後、他の部もきつと持てる力を存分に発揮しこれに続くことを期待する。

## 二人の後援会長さんの訃報に接して

今年、長い間学院のためにご尽力くださった、お二人の後援会長さんがご逝去された。

お一方は、短期大学の後援会長を34年間にわたって務めていただいた佐々木正雄氏で、今年7月9日94歳で亡くなられた。佐々木さんは元市役所職員として市の行政に携わり、豊富な識見をお持ちの方でした。地域のことをよく知っておられ、人脈も豊富で良くご指導をいただいた。短期大学の発展には多大な貢献をされた会長さんであった。後任には、八戸プラザホテル社長でおられる中川原俊雄氏が引き継いでくださった。

もう一方は、先日10月14日に亡くなられた、野辺地西高校の後援会長八木橋哲二氏である。八木橋さんは、野辺地町に野辺地工業高校を創設した時から、野辺地西高校に名称が変わった時代まで、初代PTA、後援会長さんとして35年にわたり関わって下さいました。本当に長い間お世話を頂きました。

改めて、お二方にはこれまでのご指導ご尽力に感謝を申し上げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 母校を懐かしむ

9月26日土曜日に東京御茶ノ水で開催された「八戸学院の集い」に高校・短大・大学の卒業生多数が集まってくれた。日影利男関東支部会長の後輩を案じるスピーチで乾杯。また日頃からお世話になっている企業の皆様のご出席も叶い賑やかな会となった。特にご来賓で参加していただいた企業の皆様からは、大学、短大、高校と企業の絆が深まり、「学院の温かい空気を感じることが出来た」等のコメントをいただき、これからの会の運営に大きな自信となった。締めは短期大学の羽賀玲子同窓会長が学院の歴史を辿る熱弁で締めくくった。

間もなく、学院は還暦の節目を迎えますが、卒業生の皆さんはすでに関東地域に根ざし、懐かしく郷里に思いを馳せる。この集いがますます卒業生たちの絆を深める行事になることを願う。



八戸学院関東の集い  
(9月26日(土)東京ガーデンパレス)



## 学院の60周年事業の準備

いろんな機会で、間もなく学院60年の節目を迎えることに触れさせてもらっています。こうした思いを理事会や幹部研修等において企画発表しご理解を頂いております。

また、これまで凡そ一年ほどかけて、内外の学院に関わる方のご意見も拝聴してきました。8月29日には、八戸グランドホテルに法人傘下の各学校の外郭団体の皆様にお集まりいただいて、「学院60周年記念行事」のことについてご理解を求めましたところ、快く皆様のご理解ご賛同を得る事が出来ましたので、今具体的な準備を進めているところであります。来年の1月には、記念行事の概要を発表し、2年間にわたって各学校と力を合わせて記念事業を展開する計画でおります。

還暦を迎える学院にとって、学校を取り巻く環境は常に変化する社会の中

にあります。こうした時代に法人創設60年という節目にあたり、今日まで光星学院の建設に関わってご尽力くださいました方々へ感謝すると共に、皆さんと未来の学院を考える時だと思えます。







## HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

## 美保野キャンパス Bus Stop



八戸市営バスの美保野キャンパス内への乗り入れ運行は、平成14年に始まりました。

現在、美保野キャンパス内には「八戸学院大学」、「短大前」の二つのバス停があり、1日20便のバスが運行され、多くの教職員、学生の通勤・通学や、近隣に住む住民の方の移動手段としても利用されています。また、美保野キャンパス内の寮に暮らす学生にとっては、休日、買い物など街に出かける際のなくてはならない交通手段となっています。

美保野キャンパスでは、図書館や学生食堂は一般の方にも開放されています。天気の良い日にバスに揺られ、美保野キャンパスで読書やランチをしてみたいいかがでしょうか。

